

詩の礫「S h e l t e r」に寄せて

ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、呆然としていた心持ちでいた折に、プロデューサーの根上陽子さんからご連絡をいただいた。

激しい爆撃を受けるハリキウの地下のシェルターで、果敢にアート活動が続けている、オリア・フェドロバさんが記した手記を翻訳したので、ご一読ください、と。

読み始めてすぐに、11年前の東日本大震災の直後の空気感が伝わってきた。

地震そして大津波を受けた、福島第一原子力発電所1号機、3号機の爆発後に、放射線量はみるみるうちに高くなった。事実上の外出禁止状態になる。本震と同じほどに大きい余震にさいなまれながら、家の中へと閉じこもるようにして、T w i t t e r 上に詩を書きつづけた日々。一連の詩を「詩の礫」と名付けて公開してきたのであったが、彼女の文面に刻まれた切迫感が、私なりに二重写しに見えてしまったのである。

たくさんの人々にこの現実を伝えてほしいと語っていると根上さんは続けて教えて下さった。往復書簡を申し出た。それをオンライン上で公開してみてもどうだろうか。オリアさんとの新しいシリーズはこうして始まった。これらの活動を詩の礫「S h e l t e r」と名付けた。

戦火の激しい現地にありながら了承して下さいましたオリアさんと、コーディネーターと書簡の翻訳を快くお引き受け下さった根上さんに、この場を借りて深く感謝申し上げたい。

オリアさんはその後、夏を前にして、オーストリアへと避難することが出来た。やりとりを現在も続けているが、彼女の思索と思想の深まりをフレーズの一つ一つにさらに感じている。厄災と戦争。この十数年で全く先の見えない濃霧が立ちはだかっている。より深い対話を重ねていきたいと願っている。

POLYTOPIA

- Experimental Remote Residency by co・iki -

https://co-iki.org/en_US/events/polytopia/

co・iki

Co-living&Co-creative Residency Program based in Tokyo

Website: <https://co-iki.org/>

Tumblr: <https://co-iki.tumblr.com/>

[SNS]

Facebook: <https://www.facebook.com/c0iki/>

Instagram: <https://www.instagram.com/co.iki/>

Twitter: <https://twitter.com/coiki5>

Youtube: https://www.youtube.com/channel/UCU9TZoawSm4TfE_AJbXgDow

[ウクライナの参加アーティスト]

Ukrainian artists from POLYTOPIA



Olia Fedorova / Kharkiv, Ukraine

<https://oliafedorova.com/>

Multidisciplinary conceptual artist, working with photography, video, installation and text. Born in 1994. Based in Kharkiv, Ukraine. Exhibited and participated in residencies and shows in Ukraine, Poland, Italy, Germany, United Kingdom. My practice is focused on the exploration and interaction with the environments as semantic spaces, on revealing voids in them – the spots of uncertainty and slippery of language, of misunderstanding and miscommunication, in search of a common ground where the dialogue becomes possible.

*After the full-scale war started, Olia has been working with the words and text about the shelter life in Kharkiv. She recently evacuated to Austria to continue her creative practice.

[Life under the Russian bombs, Kharkiv bunker - Day 10]

<https://co-iki.tumblr.com/post/678492858204995584/olia-in-shelter>

オリア・フェドロヴァ Olia Fedorova / ウクライナ

<https://oliafedorova.com/>

写真、ビデオ、インスタレーション、テキスト等を活用する領域横断的なコンセプチュアルアーティスト。1994 年生まれ、ウクライナ北東部のハルキウ拠点で活動する。これまでに、ウクライナ、ポーランド、イタリア、ドイツ、イギリスで展覧会やレジデンスに参加。双方向の対話を可能とするような”共通点”を見つけるため、誤解や捉え違い、不明瞭な場所や言葉の曖昧さ等の隙間を顕在化させるような意味的空間、環境との関わりや探求を軸に活動している。

*オリアは戦火でのシェルター生活の手記、言葉の作品に取り組み、2022 年 6 月以降オーストリアへ避難し、創作活動を続けている。

[ロシアによるウクライナ侵攻下のハルキウでのシェルター生活 10 日目]

<https://co-iki.tumblr.com/post/678492858204995584/olia-in-shelter>



Nana Biakova / Kyiv, Ukraine & Japan

<https://oceanshoreproject.myportfolio.com>

<https://nanabiakova.com>

Ukrainian Multidisciplinary graphic designer, performer, researcher located in Japan.

For the last 7 years she has been working as a graphic designer and art director.

Her first education is interior design. She studied graphic design and media art in School of Visual communication in Kyiv and performance art at the Polish School of Performance under Janusz Baldyga. Currently she is studying and researching Butoh dance and history in Japan.

She is co-founder of an "Experimental Butoh Group ZA" which is based in Ukraine and actively performed until 2020.

Before the epidemic in 2020 she performs mainly site-specific works in the Urban space.

She works with such techniques as performance, video, collage and her performance works are based on Japanese avant-garde dance Butoh.

ナナ・ビアコバ Nana Biakova / ウクライナ&日本

<https://oceanshoreproject.myportfolio.com>

<https://nanabiakova.com>

ウクライナ出身の領域横断的なグラフィックデザイナー、パフォーマー、研究者。

過去7年間、グラフィックデザイナー、アートディレクターとして活動してきた。

キエフの School of Visual communication でグラフィックデザインとメディアアートを、Polish School of Performance のヤヌス・バルディガの下でパフォーマンスアートを学んだ。現在、日本の舞踏とその歴史を研究している。また、ウクライナを拠点とする「実験的舞踏グループ ZA」の共同設立者であり、2020年まで活発に活動している。

2020年のパンデミック前には、主に都市空間でサイト・スペシフィックな作品を上演。パフォーマンス、ビデオ、コラージュなどの手法を用い、日本の前衛舞踊である舞踏をベースにした作品を制作している。